



歯から
元気!

カムカム

訪問歯科診療ニュース

「カムカム通信」は訪問歯科診療の普及をめざし、SOSデンティストより発行しています。

噛む噛む 通信

2010.04
Vol.

72

SOS DENTIST

発行 / SOSデンティスト
日本訪問歯科協会
〒103-0012
東京都中央区日本橋堀留町1-2-16
瀧田ビル3F
TEL : 03(5623)3651
FAX : 03(5623)1119

通院困難な方の歯科に関するお問い合わせはこちらまで… ☎ 0120-099-505

かむかむ COME COME 倶楽部

「デイサービスセンター フレンズ」(香川県高松市)では、口腔機能向上加算の申請を目標におき、「お口の健康相談」も一つのきっかけとして、利用者様の口腔ケアへの取り組みを始めています。

「お口の健康相談」で利用者様だけでなく職員の意識にも変化が



「デイサービスセンター フレンズ」生活指導員 清水修一さん

年配の方は我慢強いというか、一度入れ歯を作ったら合わなくても我慢して使っている人がとても多いと思います。相談するきっかけもなかなかないというのが、実状ではないでしょうか。私たち「デイサービスセンター フレンズ」では、日本訪問歯科協会からご紹介いただき、昨年、歯医者さんによる

利用者様の「お口の健康相談」を行いました。

「歯医者さんが来てくれるならば……」と、入れ歯の不具合をみてもらった利用者様もいて、歯のことを相談していただくようお願いする機会を作ることができ、とてもよかったです。

「お口の健康相談」で口腔ケアの大切さを実感

「お口の健康相談」に来てくださった歯医者さんとはとてもやさしく、お話もわかりやすかったので、「診ていただいても喜んでくださいました。結果を受けて、後日、歯医者さんに通い始めた方もいらっしゃいますし、訪問歯科診療を利用して、継続的な口腔ケアを行っている方もいらっしゃいます。また、私たち職員も、「お口

の健康相談」を行ったことで、口腔ケアの大切さが今まで以上に実感することができたので、少しずつ意識に変化が表れました。

普段、歯みがきを嫌がる利用者様には、いただいた資料を参考にして声かけの方法を、これまでとは変えてみるなど、少しずつではありますが、アプローチの仕方も変わってきたと思います。

ゆくゆくは口腔機能向上加算の申請を目標に!

「お口の健康相談」は利用者様にも好評でしたので、今後も続けていきたいと思っています。今年もこれから行う予定です。

そして、職員も口腔ケアについてもう少し知識をもたなければと思っています。認知症のことなどはいろいろ勉強する機会があっても、お口のこと、口腔ケアのことを勉強する機会が意外と少ないように思います。

当施設でもゆくゆくは口腔機能向上加算に取り組んでいきたいと思っていますので、口腔ケアの勉強もしていきたいと考えています。

今日から始める、簡単お口のケア!
アドバイス

痛みを伝えられない人の口腔ケア

口の中の痛みは、何からのトラブルを抱えているサイン。その原因を知ることが大切ですが、認知症や病気や障害などによって、痛みを自分ではっきり訴えることができない人もいます。その場合、状態の悪化を防ぐためには、口腔ケアの介助者が、口の中の様子や口腔ケアを行うときの顔の表情や反応などを注意深く観察して、専門家と連携をとる必要があります。

口の中の痛みの原因となる、主なものは次の通りです。

- 歯肉炎・歯周病
- 症状 歯肉の赤みや腫れ、口臭、歯石・歯垢の付着
- 反応 口腔ケアを嫌がる／歯ブラシを手で払ったり顔を背けたりする／歯ブラシに血がつく
- 口角炎
- 症状 口角のただれ、出血
- 反応 大きく口を開けない、長時間開けられない／歯ブラシが口角に触れると痛がる、顔を背ける
- 口内炎
- 症状 口腔粘膜が赤い／ただれ
- 反応 歯ブラシを口に入れるのを嫌がる／歯ブラシに血がつく／刺激味の食べ物・飲み物を嫌がる
- ドライマウス
- 症状 痰や舌苔の付着、口腔粘膜の赤みや乾燥
- 反応 口腔ケアを嫌がる／顔を背ける。